

SFA

サニシャワープラス 施工説明書 取扱説明書

SANISHOWER[®]+



本製品は、雑排水専用の排水圧送ポンプです。
施工説明書に従って正しく設置、ご使用いただければ、規定の性能を発揮します。
本製品は、ISO 9001の認証を受けた工場で製造されています。
本製品は、電気用品安全法の規格に適合しています。

ISO 14001
BUREAU VERITAS
Certification




afaq
ISO 9001
Qualité
AFNOR CERTIFICATION


はじめに

施工前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

 **警告** 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

警告

絵表示の例



してはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。



分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造は行わない
火災や感電、けがの原因になります。



アース接続

電源はAC100Vのコンセントを使用し、アース工事(D種接地工事)を行う
火災や感電のおそれがあります。



禁止

本製品は屋内設置用です。屋外および傾斜のあるような壁面や床面、振動の激しい場所には取り付けない



水ぬれ禁止

水を流して清掃する場所、屋外など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない商品に水をかけない

火災や感電、けがなどの重大事故のおそれがあります。

電源コンセントは水や小水がかからない位置に設置する
給排水管及び吐出配管の真下にコンセントを設置したり、給排水管及び吐出配管と電源プラグ・コンセントを接触させない
感電・発火の原因となります。



必ず守る

消費電力に合った適切な配線を必ず行う(専用配線をおすすめします。)

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

給水管と吐出配管、排水管接続部を接触させない

上下に排水が混入して健康に被害が及ぶ可能性があります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。

注意



禁止

専門業者以外の方は、施工を行わない
水漏れ、故障、けがの原因になります。



必ず守る

必ず同梱の部品を使用し、正しく所定の位置に取り付ける

正しく取り付けないと水漏れ、故障の原因になります。

吐出配管を踏みつけない

ポンプから汚水があふれて家財をぬらす財産損害発生のおそれがあります。

工事完了後、本製品に通電し本製品に接続されている全ての設備機器に十分水を流し、本製品が正常に稼働し排水が吐出されることを確認する

また、本製品の吐出配管接続部、流入配管接合部から水漏れ等の異常がないか確認する

確認せずに使用すると、浸水による財産損害の原因になります。



必ず守る

施工は施工説明書に従って確実にを行う
正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。

吐出配管は、まず、排水立て管、浄化槽等の雑排水系統に接続する

本製品を設置する前に、必ず配管が所定の条件で施工されていることを確認する
水漏れや故障の原因になります。

吐出配管と電源コードは人が通らない場所に設置する

人が通る場所に設置すると、転倒などにより、けがをすることがあります。

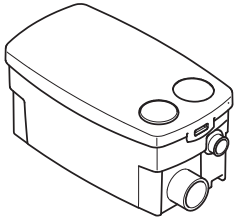
施工上のご注意

- ・本製品の設置検討に当たってはP.8・9「設計施工ガイド」をご一読ください。
- ・本製品は接続先の設備と同一空間内で、メンテナンスのスペースを考慮して、設置してください。
- ・単相100Vの50Hzまたは60HzのAC電源を必要とします。
- ・2極アース付コンセントをご用意ください。その回路は漏電ブレーカーで保護される必要があります。機器を設置する場所は、コンセントに届く位置でなければなりません。電源は専用回路を推奨します。
- ・電源コードの長さは1.5mです。コンセントは本体コード取出口から1.5m以内の壁面に設けてください。
- ・浄化槽を使用する場合、水量・水質の規定があります。建築用途や処理対象など個別に検討する必要がありますので、浄化槽メーカーまたは販売業者にご確認いただき、その指示に従ってください。
- ・汚水と雑排水の合流方法、排水管の設計方法は各自治体の指定に従ってください。

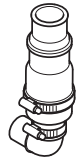
本製品は、雑排水を排出する設備機器用に設計された小型排水ポンプです。

同梱部品

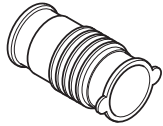
最初に必ずご確認ください



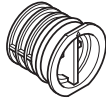
本体



吐出エルボ



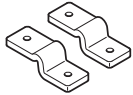
流入排水接続用
ゴムジョイント
(2個)



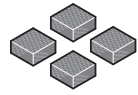
プラグ
(1個)



ホースバンド
25-40mm (1本)
20-32mm (2本)
32-55mm (4本)



固定具
(2本)



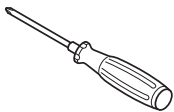
クッション材
(4個)



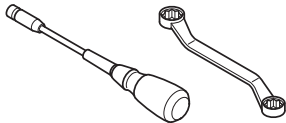
本体固定ビス
(2本)

床固定用のビス(2本)
(床材質にあわせてご用意ください。)

必要工具



プラスドライバー



レンチ類 7mm

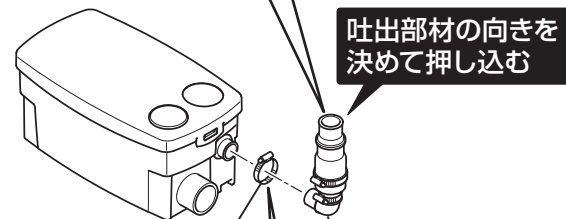
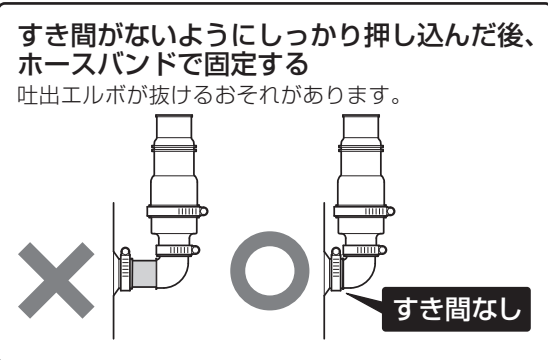
取り付けかた

1 吐出部材の取り付け

吐出配管は、VP20mmもしくはVP25mmの何れかが選べます。
使用する管径によって組み立て方が異なります。

吐出配管VP20mmを使用する場合

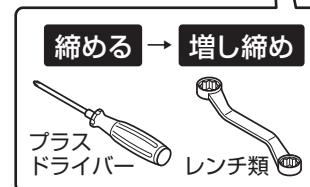
吐出エルボの向きを接続する配管の方向に応じて決め、押し込む



吐出部材の向きを決めて押し込む

ホースバンド
(20-32mm)

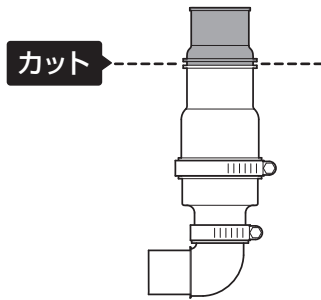
吐出部材
※固定後に回すと
ねじれが発生します。



取り付けかた (つづき)

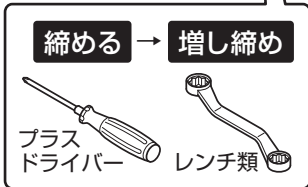
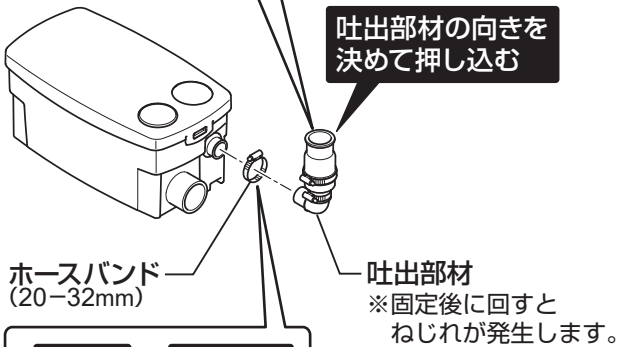
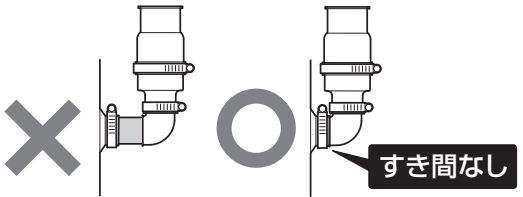
吐出配管VP25mmを使用する場合

- 1** 吐出エルボを
図の位置でカットする



- 2** 吐出エルボの向きを接続する配管の方向に応じて
決め、押し込む

すき間がないようにしっかり押し込んだ後、
ホースバンドで固定する
吐出エルボが抜けるおそれがあります。



2 雑排水流入口の処理をする (横:2カ所)

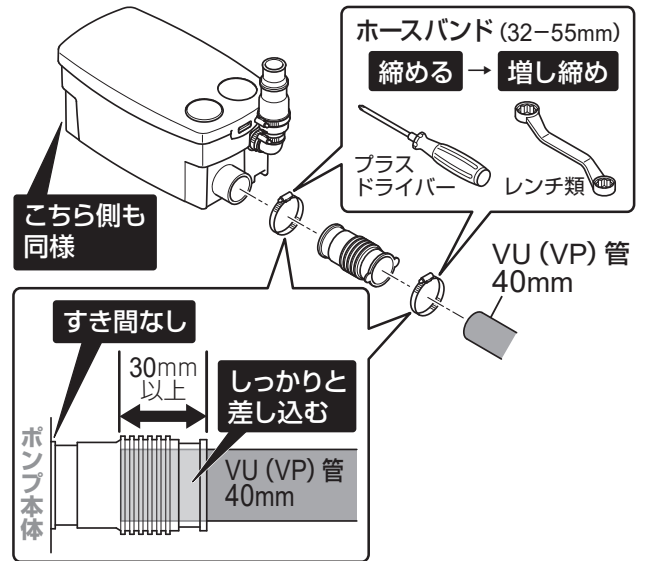
雑排水を接続しない流入口の処理

使用しない雑排水流入口にプラグを押し込み、90度
回し閉止する



手洗器等の雑排水を接続する流入口の処理

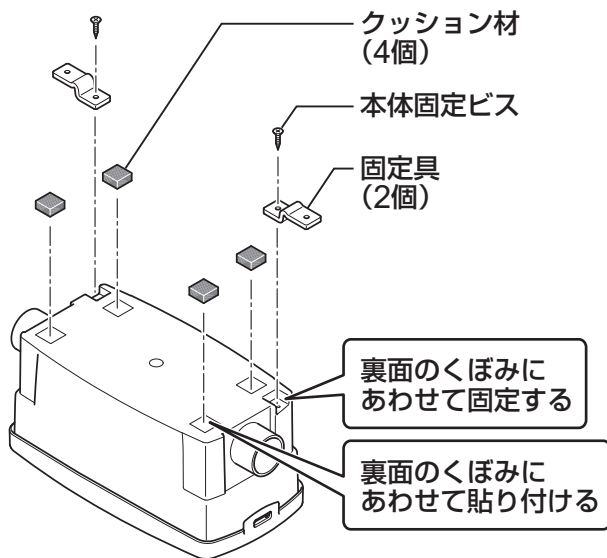
雑排水流入口に排水接続用ゴムジョイントをかぶせ、
VU (VP) 管40mmの配管を差し込み、ホースバンド
(32-55mm)で2カ所固定する



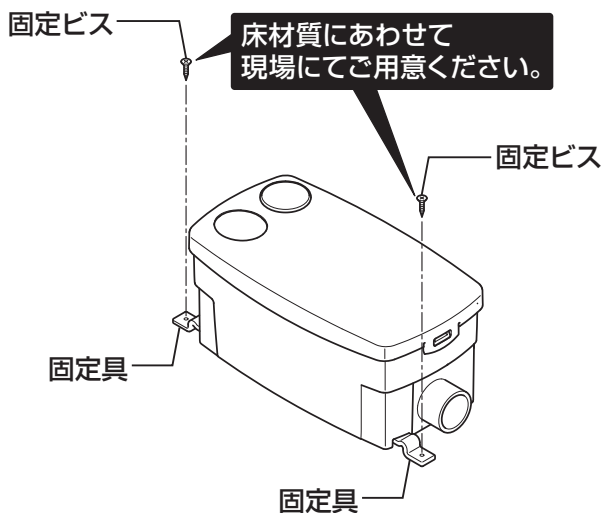
取り付けかた (つづき)

3 クッション材、固定具の取り付け

- 1 クッション材の剥離紙をはがし、貼り付ける
- 2 固定具を図の向きにビスで本体に固定する

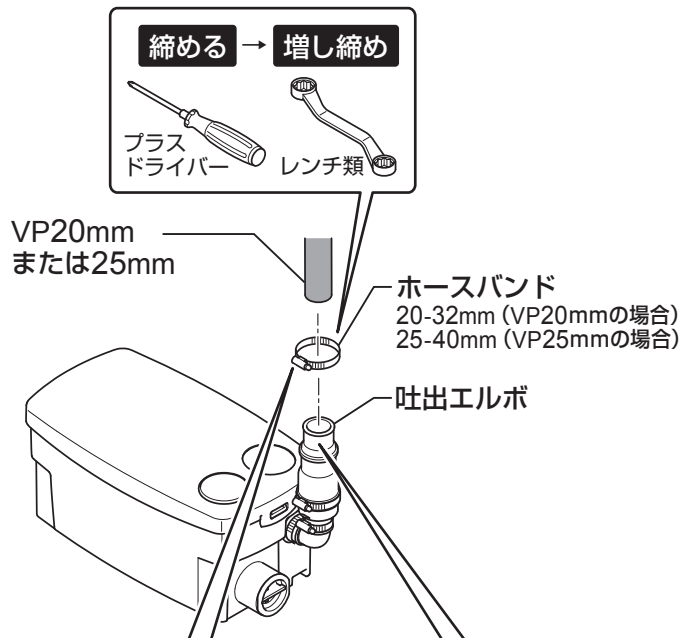


4 ポンプの床固定

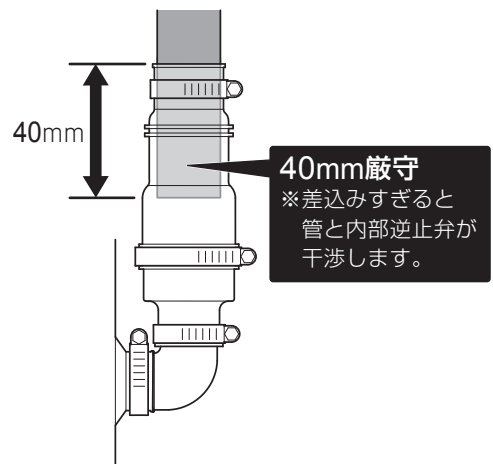


5 配管接続

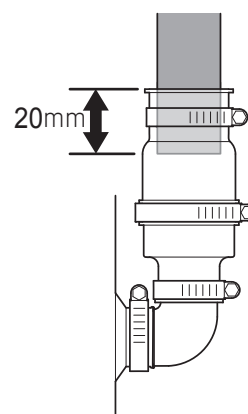
吐出エルボに配管を差し込み、ホースバンドで固定する。
20-32mm使用 (VP20mmの場合)
25-40mm使用 (VP25mmの場合)



吐出配管VP20mmの場合



吐出配管VP25mmの場合



試運転

工事完了後、本製品に通電し本製品に接続されている全ての設備機器に十分水を流し、本製品が正常に稼働し排水が吐出されることを確認してください。また本製品の吐出配管接続部、流入配管接続部から水漏れ等の異常がないか確認してください。

設計施工ガイド

吐出配管に関する注意

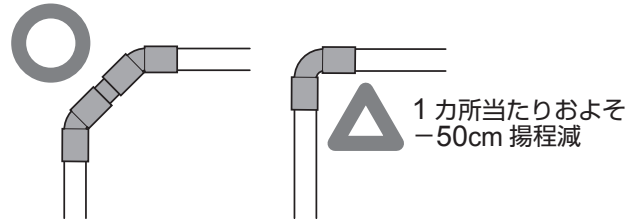
1 吐出管になるべく近い位置にボールバルブなどを 入れてください。

バルブは常時“開”の状態でご使用ください。
メンテナンス・修理時のみ、バルブを閉めて管内の排水の落下を
防いでください。



2 適用配管はVP管です。

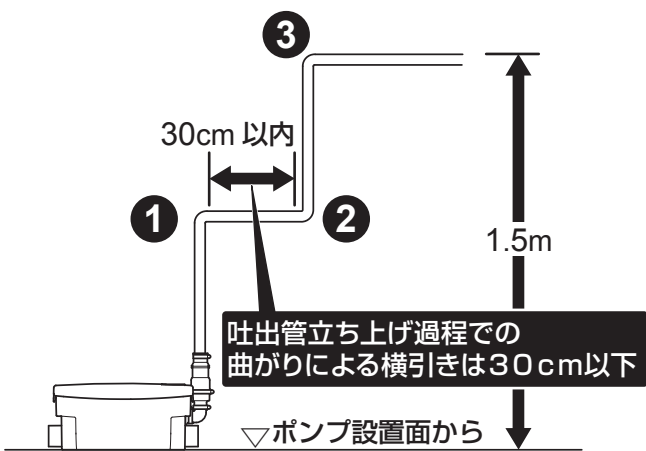
エルボは45度曲がりのものを推奨します。



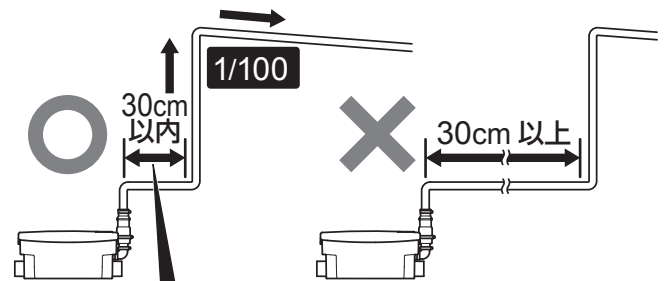
3 ●吐出管立ち上げ過程での曲がりは、1曲がりにつ き各ポンプの最大揚程から50cm ずつ減衰します。 (但し曲がりは3回まで)

●ポンプの最大揚程は、P.10にてご確認ください。

●最大揚程-(減衰50cm×曲がりの数)=立ち上げ可能距離
例：3m-(50cm×3曲がり)=1.5m
1.5mまで垂直に立ち上げることができます。



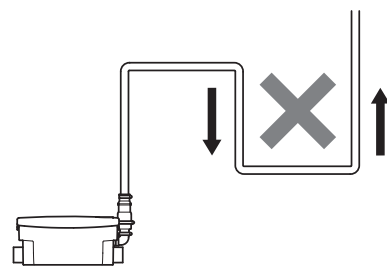
4 ●吐出管立ち上げ後、横引きする場合は、逆流防 止のため、1/100勾配をつけてください。



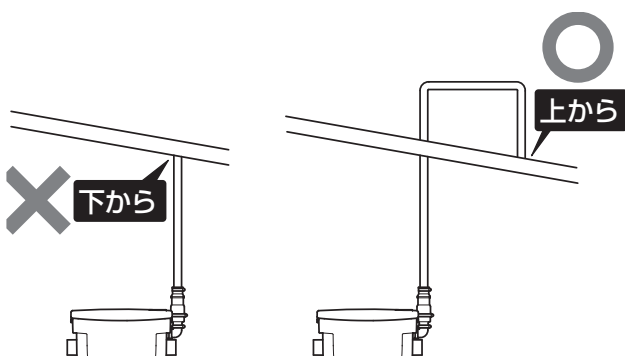
吐出管立ち上げ過程での
曲がりによる横引きは30cm以下

5 一度下げた配管は再び立ち上げることができません。

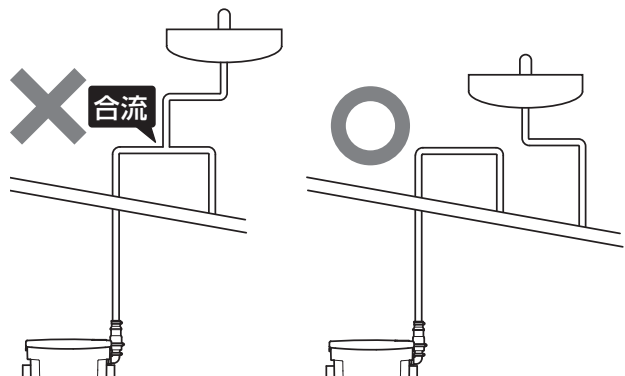
※逆鳥居配管不可。



6 落水による逆流防止のため、圧送管は排水主管上 部に接続してください。



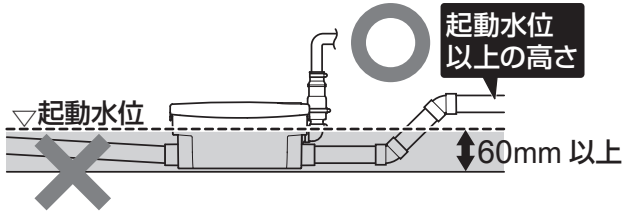
7 破封・逆流防止のため、他の設備機器との合流は 禁止です。



設計施工ガイド (つづき)

流入に関する注意

- 設備機器から本製品への流入配管には、適切な勾配が必要です。(1%以上の下り勾配)
- 本製品横の流入口を使用する場合は、横引き配管の高さを起動水位以上の高さとしてください。

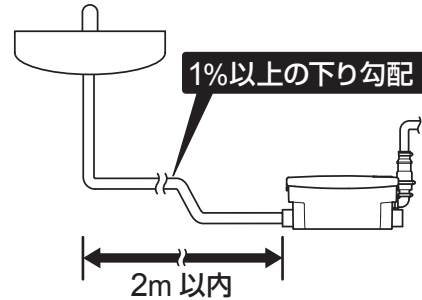


※管内が満水状態になり、漏水の原因になります。

- 本製品に接続されている機器の”あふれ面(縁)”の高さは、本製品の起動水位より高くなるように設計してください。

設備機器と本製品の接続距離が2mを超えないようにしてください。

排水の流れが悪くなる可能性があります。やむを得ず2mを超え、さらに排水の流れが悪くなったときには、設備機器側の排水管に通気を設けることで解消する場合があります。



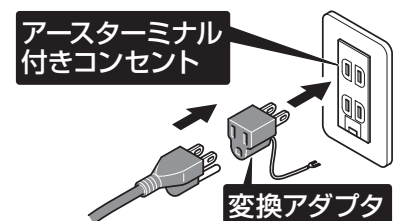
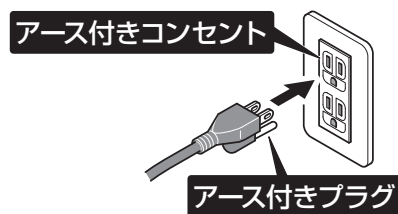
通気

本製品の本体自身に通気機能があるため、通気管の立ち上げは不要です。

排水流入、排水吐出時におけるポンプ内圧力の調節のために、ポンプ上部カバーに、通気を目的とした微細な空孔を設けており、脱臭用カーボンフィルターを通してポンプ内外をつなぐ構造になっています。

電源プラグ

プラグは2極アース付きです。アースターミナル付きコンセントに接続の際は、変換アダプタが必要です。必ずアース接続を行ってください。

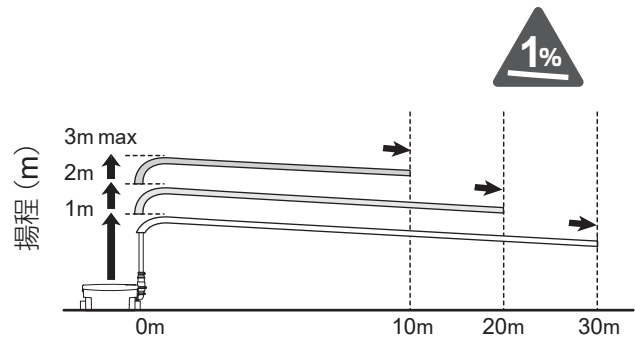


技術情報

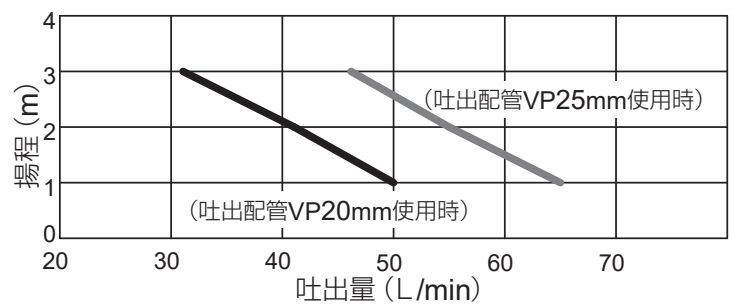
仕様

製品名	サニシャワープラス
型番	SSWPLUS-100
設置推奨機器	手洗器・洗面化粧台・冷蔵ショーケース(ドレンアップ)
消費電力	100V 200W (50Hz)/240W (60Hz)
差込プラグ	2極アース付
吐出管径	20、25mm
流入管径	40mm×2
排水吐出部材、流入口には予め逆止弁が付属	
耐用温度	35℃
本体寸法	幅320×奥行166×高さ145mm
機器重量	4.0kg
起動水位	設置面+60(±10)mm 約1L 流入時に起動
最大揚程	3m
内部空間容積	3リットル

横引き(1%下り勾配)搬送可能距離

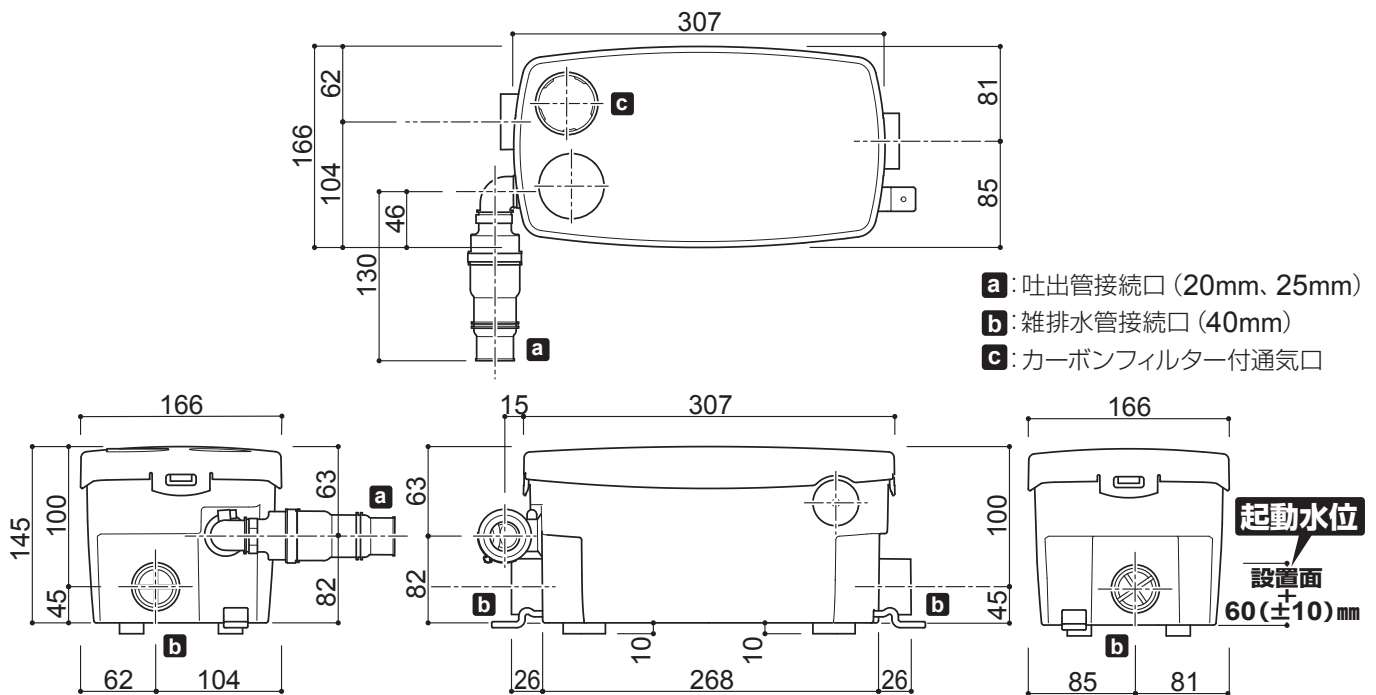


能力曲線



ポンプ吐出量は揚程、吐出口径によって変わります。
ポンプ吐出量 \geq 合計流入量となるようにしてください。

図面



サニシャワープラス 取扱説明書

施工終了後、点線で切り取り、本内容をお客様に説明した後お客様(ご使用者様)へお渡しください。

使用上のご注意

- ・本製品に接続されている設備機器(手洗器など)には、35度以上のお湯、油脂分が多い排水を流さないでください。上記、機器の排水口には必ず目皿等を設置し大きな固形物が本製品に流入しないようにしてください。それらを流すと本製品の故障の原因となります。
- ・本製品に電気が供給されていない状態では、接続されている機器は使用できません。停電時等は速やかに使用を中止してください。本製品及び接続機器に何らかの異常が認められるときは、接続機器の使用を速やかに中止するとともに、本製品の電源プラグをコンセントから抜いて、電源を遮断してください。

長期間使用しない場合

⚠ 注意



本製品に接続されている設備機器の給水管の止水栓を閉めるとともに、安全のため本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常が発生した場合

下記のような異常が本製品に発生した場合は、本製品に接続されている設備機器の使用を速やかに中止するとともに、本製品の電源プラグをコンセントから抜いて、電源を遮断し、SFA Japanまでご連絡ください。

- 本製品に接続されている設備機器が流れない
- 作動しない
- 異音がする
- 漏水している
- 作動し続け、止まらない
- 異常に熱くなっている

点検修理が必要な場合は、SFA Japan 認定作業者を派遣致します。

⚠ 警告



絶対に分解しない

内部に触れることにより人体に障害がおこる可能性があります。



異常時の連絡先

03-5623-3151

保証

家庭用については2年間、業務用・商業用については1年間保証されています。

保証期間は、使用者による購入日又はプロジェクトの操業開始日から起算します。

保証は、本取扱説明書に従って正しく設置し、正しく使用していることを条件とします。

油脂物質、食品くず、繊維質のシート・ペーパー・紙類、草木の葉・枝・茎、ゴム金属木製の小片など、水に溶けない異物に起因する製品の故障及び損傷は、保証できません。

また、有機溶剤、酸性・アルカリ性溶液、その他化学薬品が流れ込むと製品の故障及び損傷を引き起こす原因になり、保証が無効になります。

SFA Japan 株式会社

(エス・エフ・イー ジャパン株式会社)

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-3 箱崎公園ビル7階

TEL

代表

03-5623-3151

ホームページ

www.sfa-japan.jp

メールアドレス

sales@sfa-japan.jp